

松江工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	地域産業とエンジニア	
科目基礎情報							
科目番号		0004		科目区分	専門 / 選択		
授業形態		授業		単位の種別と単位数	: 0		
開設学科		環境・建設工学科		対象学年	4		
開設期		後期		週時間数	0		
教科書/教材		参考書：「地域産業論」山陰中央新報社					
担当教員		箕田 充志					
到達目標							
(1) 講演の内容を理解する。 (2) 講演に対して、自己の見解をまとめられる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		本科目は、地域や産業界に対する幅広い知識を提供することを目的としたオムニバス形式での講義であって、学内外講師を招聘し、各種の講義を提供する。 具体的な講義内容としては、 ① この地域の歴史・文化的特徴及び産業の現状や今後の展開を旬な話題として提供する。 ② 実際の産業界の方々から実践学問、現場の声として提供する。 ③ グローバルな視点、幅広い見識に基づいた話題、新規性のある話題を提供する。 本科目によって地域社会、地域産業に対する幅広い見識を身につけることができる。 一方、島根県は我が国における少子・高齢化の進んだ地域である。過疎地域における労働者不足や製造業を中心とする2次産業のエンジニア不足といった現状がある。問題の解決には、地域産業や地域経済の活性化が重要な課題となる。このような背景の基、本科目は地方創生を学の面からサポートするCOC+事業の一環として実施する。					
授業の進め方・方法		到達目標 (1)、(2) について、各講演に対して指定したレポート用紙1枚にまとめる。科目の評価は講演を聴講し、提出されたレポートを以って100%とするし、合格は60%以上とする。ただし、受講態度の悪い学生については評価対象外とするので注意すること。 レポート評価基準：各分野について論理的に記述できているか。 各分野について自分の考えが記述してあるか。 文法の誤り、誤字、脱字がないか。 一定以上の文字数を記述しているか。					
注意点		本講義においては、地域社会とそこでの産業のあり方などについて学生諸君に考えていただくことが重要である。本講義の理解のためには、幅広い知識と感性を必要とするため、日頃から新聞などで地域の実情に目を向けるよう心がけることが重要である。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	箕田 テクノフォーラム目次副会長				
		2週	株式会社ネットワーク応用通信研究所・井上様				
		3週	テクノフォーラム 今岡様				
		4週	島根県産業技術センター所長 吉野勝美様				
		5週	三菱マヒンドラ農機				
		6週	島根銀行 総合企画グループ 佐野様				
		7週	矢野様				
		8週	山陰中央テレビ 総務局 (松本総務部長)				
	4thQ	9週	日立金属株式会社 安来工場 佐藤 光司様				
		10週	株式会社テクノ・インテグレーション 出川 通様				
		11週	株式会社 オプティマ 梶谷伸二様				
		12週	12/11しまね大交流会実施 (振替：任意参加)				
		13週					
		14週	株式会社山本金属製作所岡山研究開発センター 山本 泰三 様				
		15週	国交省				
		16週	地域企業紹介 (テルサ)				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	未来の多くの可能性から技術の発展と持続的社会の在り方を理解し、自らのキャリアを考えることができる。	1		
				技術の発展と持続的社会の在り方に関する知識を有し、未来社会を考察することができるとともに、技術の創造や自らのキャリアをデザインすることが考慮できる。	1		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	100	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0